

令和5年度 国家資格「3級・2級FP技能士」合格者報告 (生活デザイン学科)

令和5年度のファイナンシャル・プランニング（FP）技能士検定試験は、5月・9月・1月に計3回実施されました。

5月試験で3級1名、9月試験で3級2名・2級1名、1月試験で3級2名が合格し、延べ合格者は3級5名、2級1名となりました。

経済系学部・学科以外の学生が、短期間で合格するのは難しいといわれますが、本当によく頑張りました！ おめでとうございます！！

年度末には、この努力が称えられ、九州女子大学後援会からの「100人表彰」が授与されました。



この試験合格に直結する学びは、生活デザイン学科で令和4年4月から開講した3年次前期の「パーソナルファイナンス」、3年次後期の「ファイナンシャルプラン」があります。

「パーソナルファイナンス」では、FP3級合格をめざし、約450ページあるテキストを使用して学修します。今年度も先週から授業が始まりましたが、選択授業科目にもかかわらず、家庭科教員希望者・一般企業就職希望者ともに、多くが受講しています。

FPの資格というと、主に金融機関等への就職希望者に関係あるものとイメージされるかもしれませんが、近年、中学・高校の教育現場においても、「ライフプランニング（生活設計）」を含む金融経済教育が非常に重要視されており、高校家庭科の学習指導要領には、「投資」についても扱うよう記載されました。

また、今年1月から始まった「新NISA」制度に対する関心も高まっており、家庭生活を営む上でも大変役立つ学びです。

とはいえ、学修範囲は6分野（①ライフプランニングと資金計画、②リスク管理、③金融資産運用、④タックスプランニング、⑤不動産、⑥相続・事業承継）と幅広く、15回の授業のみで理解するのは困難です。

しかし、本学科では1年次からの授業科目に「家政学概論」「家族関係学」「消費生活論」「生活経営学」があり、上記6分野に関連のある内容を少しずつ身に付けていくことができます。

また、受け身の学びではなく、授業前に自分でテキストを読んで受講することを前提とし、「予習」⇒「授業」⇒「復習」⇒（翌週授業最初の）「予習・復習 小テスト」を取り入れ、主体的な学修を求めました。これらを確実にを行い、さらに各自が移動時間にアプリなども用いて勉強するなど、工夫・努力したことが実を結びました。

授業を活かしながら役立つ知識をたくさん修得し、達成感に溢れた様子の皆さんを目のあたりにすると、とても嬉しく頼もしく思います。

今年度からは、FP検定を毎月受験できるようになりました。大学の試験時期などを勘案しながらスケジュール管理し、積極的に受験するといいですね。

生活デザイン学科での様々な学びを楽しんでください！